

4 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子 中井 裕美 大須賀 弥生 谷田 香
		報告日	05/08		
山 域	鈴鹿山脈	山行日	13 年 04 月 14 日(日)		
山 名	御池岳*****				
山行目的	残雪の春山を楽しむ		コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
集会:12  
山行:1  
リーダー  
原紙:集  
会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5 万分の 1 地図: 御池岳

4/14 晴れ

05:00 豊橋(自宅)発  
07:30 藤原簡易駐車場  
07:40 駐車場発  
08:40 木和田尾登山道  
一本(15分)  
10:10 白瀬峠一本(15分)  
11:50 御池岳山頂  
(昼食 30分)  
12:40 ボタンブチ(5分)  
14:10 白瀬峠一本(10分)  
15:30 駐車場着  
16:00~17:00 阿下喜  
19:00 豊橋(自宅)着

山行報告 久し振りに豊橋のメンバーへ「山へ行かない?」と、声をかけると、「行く、行く!」と嬉しい声。残雪が残ってうまくいけば花も見えるかもしれない鈴鹿の御池へ決定。306 号線通行止め情報もあり、コグルミ谷からのコースを断念し、少々歩行時間が長くなるが木和田尾コースを選択。早朝5時に豊橋を出発、7時半に駐車場へ到着。早速に準備をして出発。地図を頼りに登山口を探しつつ、306 号線をしばらく歩き、目印(?)と思われるストックが立てかけられた所を左に細い道へ入っていく。しばらくいくと、更に左へ細い登山道らしきものがあった。送電線の方向等から、目星をつけて入っていく。すぐに急登が始まり、ゆっくりと登る。私のストックの調子が悪く、ポレポレペースを加速する。抜けてしまった1本を諦め、片側ストックで登る。一汗かいて、やや傾斜が緩くなった所で1本(白瀬峠までの中間点付近)。団子を食べれば、元気回復。登りが続き、結構きつい。樹林の中の木陰で助かる。道が南西から北西に変わりバイケイ草の群落がある斜面をトラバース気味に横切り、再び、南西へ直登した所で、白瀬峠へ到達。多くの人が休憩中。真ノ谷沿いに行くか、尾根道に行くか、思案したが、時間の短い尾根道へ決定。修正図には、花の多い快適コースと書いてあったが、花は見当たらない。コグルミ谷からの道と合流し、南西へ急斜面を登っていくと、やがて頂上付近に残雪が残っていた。雪面を滑らない様に、注意して一步一步と登っていくと山頂へ。山頂でも多くの人が、休憩していた。リタイヤ組らしい年配のグループが、偶然に道を間違え藪こぎで登ったら、鈴ヶ岳の向こうに福寿草の群落があったと賑やかに話して

確認  
(リーダー)  
津田  
13.4.30  
作成  
(報告者)  
津田  
13.4.30

いる。鈴北岳へ行くと時間もかかるので、昼食のお握りを食べ、せめて展望のいいボタンブチへ向かう。ボタンブチの絶景を見て、早々に下山を開始。雪面を半ば滑りを楽しみながら下りていく。忠実に登ってきた道をピストンする。白瀬峠で休憩後、結構な急斜面を着実に下り、一気に駐車場迄下山した。下山後、阿下喜で、汗を流して夕方頃に豊橋へ到着し、楽しい一日が終了した。

リーダー所見  
豊橋メンバーとの今年の初山行であったが、天候にも恵まれ、又、少しばかりの残雪を楽しむ事ができた。一緒に行ったメンバーも喜んでくれ、又、自分にとっては、昨日の荒島岳と連続しての登山であったが、春合宿に向けての格好のトレーニングとなったと思う。

ヤッター 山頂です! 11:50